



ばん じょう がわ
番匠川
 や ちょう かん さつ
野鳥観察マップ



国土交通省 九州地方整備局 TEL.0972-22-1880 FAX.0972-23-7481
 佐伯河川国道事務所 〒876-0813 大分県佐伯市長島町4丁目14-14
<http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/>
 E-mail saiki@qsr.mlit.go.jp

佐伯河川国道事務所
 〒876-0813
 大分県佐伯市長島町4丁目14-14
 ☎0972-22-1880(代)

佐伯出張所
 〒876-0834
 大分県佐伯市城南町31-10
 ☎0972-22-1734

佐伯維持出張所
 〒876-0111
 大分県佐伯市弥生大字井崎1244-1
 ☎0972-46-0022

竹田維持出張所
 〒878-0024
 大分県竹田市大字玉来上/道1162-2
 ☎0974-63-2642



番匠川 ミニ野鳥図鑑 (留鳥・夏鳥)

番匠川水系ではこれまでに110種類以上の鳥が確認されています。
ここでは番匠川とその支川でよく見られる鳥を掲載しました。

分布凡例
 上流：森下橋より上流
 中流：森下橋～興人潮止堰
 下流：興人潮止堰より下流
 井：井崎川
 久：久留須川
 堅：堅田川



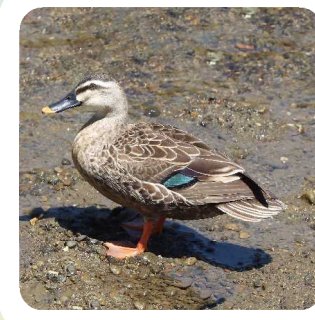
ミサゴ (タカ科)
 分布：上流・中流・下流・久・堅
 全長約 60cm。トビとほぼ同じ大きさ。翼が細長く体下面の白が目立つタカ。上空から狙いを定めて水面にダイビングしてボラ、スズキ、コイ等の魚を捕える。海岸近くの岩棚や樹林に営巣する。



カイツブリ(カイツブリ科)
 分布：中流・下流・井・久・堅
 全長約 26cm。全身黒褐色に見える小さな鳥。水中に潜って小さな魚、エビ類、貝類、水草などを食べる。ヨシ原などに水草を集めて浮き巣をつくる。鳴き声は「クレレレ…」「ピリリ。」など。



カワウ(ウ科)
 分布：上流・中流・下流・井・久・堅
 全長約 80cm。全身黒色の大きな水鳥。水中に潜って魚を食べる。樹林地に集団で営巣する。鳴き声は「グルルーン。」「グワツグワツ。」など。



カルガモ (カモ科)
 分布：上流・中流・下流・井・久・堅
 全長約 60cm。雄雌ともに褐色のカモ。くちばしは黒く先端が黄色い。草の実や葉、水生昆虫などを食べる。草むらなどの地上に枯れ草などで巣をつくる。鳴き声は「グエグエ。」など。



ダイサギ(サギ科)
 分布：上流・中流・下流・井・久・堅
 全長約 90cm。全身白色の大きなサギ。河川や水田の浅い水域で魚やカエルを食べる。樹林地に他のサギ類と一緒に集団で営巣する。鳴き声は「グワァー。」など。



コサギ(サギ科)
 分布：上流・中流・下流・井・久・堅
 全長約 60cm。全身白色の小さなサギ。足指は黄色。河川や水田の浅い水域で魚やカエルを食べる。樹林地で他のサギ類と一緒に集団で営巣する。鳴き声は「ゴワァー。」など。



イカルチドリ(チドリ科)
 分布：上流・中流・井・久・堅
 全長約 21cm。ムクドリくらい大きさ。河川の砂礫地やその周辺で昆虫類などをついばむ。中流域の礫の多い河原や中州で、砂利の上に窪みをつくり産卵する。鳴き声は「ピオピオ。」など。



ヤマセミ(カワセミ科)
 分布：上流・中流・井・久
 全長約 38cm。頭～尾羽まで白黒の鹿の子斑模様が目立つ。山地の溪流などで小魚を捕える。カエルやサワガニなどを食べることもある。土でできた崖に横穴を掘って営巣する。鳴き声は「クレツツクレツ。」



カワセミ(カワセミ科)
 分布：上流・中流・下流・井・久・堅
 全長約 17cm。背面のコバルトグリーンが美しい鳥。水中にダイビングして小魚を捕える。魚のほか、エビ、水生昆虫、カエルなども食べる。水辺の土でできた崖に横穴を掘って営巣する。鳴き声は「ツイー。」



ヒバリ(ヒバリ科)
 分布：中流・下流・井・堅
 全長約 17cm。茶褐色の小鳥で冠羽(頭上の長い羽)がある。歩きながら雑草の種子、昆虫類などを食べる。草地の地上に枯れ草などで巣をつくる。飛びながら「チーチビ、チュクチュクチー、ピーピーピー。」などと囀る。



キセキレイ (セキレイ科)

分布：上流・中流・井・久・壑

全長約 20cm。尾羽が長く下面は黄色。水辺を歩いたり、空中に飛び上がったりして昆虫類を捕える。水際の窪の窪み、人家の軒下などに巣をつくる。高い澄んだ声で「チチン、チチン。」と鳴く。



セグロセキレイ (セキレイ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 21cm。尾羽が長く体の上面は黒く、下面は白い。水辺を歩いたり、空中に飛び上がったりして昆虫類を捕える。屋根の下や河原の石の下などに巣をつくる。飛びながら「ジー、ジー。」と濁った声で鳴く。



ヒヨドリ (ヒヨドリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 28cm。全身灰色で尾が長い。人家周辺から山地まで様々な林で花の蜜、果実、昆虫類などを食べる。樹林地や庭木などに営巣する。鳴き声は「ピーヨ、ピーヨ。」など。



ホオジロ (ホオジロ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 17cm。体は茶褐色で顔は肩と頬、喉が白い。イネ科の雑草の種子や昆虫類を食べる。草のかげや低木の枝などに巣をつくる。さえずりは「一筆啓上仕り候。」などと聞きなされる。



カワラヒワ (アトリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 14cm。翼にある黄色い模様が綺麗な小鳥。河川敷の草地などで草の種子などを食べる。樹林地や公園の樹木などに巣をつくる。鳴き声は「キリキリ、コロコロ。ジュイー。」など。



スズメ (ハタオリドリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 14cm。人が生活しているところならほとんどの場所で見られる小鳥。草の種子や昆虫類を食べる。人家や橋などの隙間に巣をつくる。鳴き声は「チュン、チュン。」など。



ハシボソガラス (カラス科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 50cm。背は細く顔と嘴の間の段差は小さい。雑食性で生ゴミを食べたり、果実、昆虫、鳥の卵など様々なものを食べる。樹木や電柱などに巣をつくる。濁った声で「ガー、ガー。」と頭を上下させて鳴く。



ハシブトガラス (カラス科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 57cm。背は太く顔と嘴の間の段差は大きい。ハシボソガラスと同様に雑食性である。樹木や建物などに巣をつくる。澄んだ声で「アー、アー。」や「カー、カー。」などと鳴く。



アカショウビン (カワセミ科)

分布：上流・中流・久

全長約 27cm。全体が鮮やかな赤褐色で、くちばしが赤色。広葉樹林に生息し、枯木などに穴を掘って巣を作る。サワガニ、カエルなどの小動物や虫をとる。「ヒヒョロロ・・・。」とだんだん小さくなる声で鳴く。



アマツバメ (アマツバメ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 20cm。ほぼ全身黒褐色で腰が白い。ツバメより翼は細長い。巣に戻る時以外は空中で過ごし、飛翔しながら空中の虫を食べる。海岸や山地の絶壁で繁殖する。鳴き声は「ツィリリリ。」など。



ツバメ (ツバメ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 17cm。河川や水田などの上空を飛びまわって空中の昆虫類を捕える。住宅や駅などの軒下に営巣する。秋には河川敷のヨシ原に大規模なねぐらを形成する。「チュイチュイ。」と鳴きながら飛ぶ。



オオヨシキリ (ウグイス科)

分布：中流・下流・井・久・壑

全長約 18cm。淡褐色の地味な小鳥。河岸などのヨシ原に生息し、ヨシ原や草地などで昆虫類を捕える。密生したヨシ原に営巣する。「ギョギョシ、ギョギョシ、ケケシ、ケケシ、チカチカチカ。」とやかましく囀る。



冬鳥：北方から秋に渡来し、越冬したあと春には北方へ帰る鳥



分布凡例

上流：森下橋より上流
 中流：森下橋～興人潮止堰
 下流：興人潮止堰より下流
 井：井崎川
 久：久留須川
 壑：壑田川



旅鳥：春と秋の渡りの時期に通過する鳥



マガモ (カモ科)

分布：中流・下流・久・壑

全長約 60cm。雄の頭は緑。日中は川の水面などで休んでいる。主に夜間に水田などで草の実をついばむ。家禽として飼われているアヒルの原種。鳴き声は「グエッグエツ。」



コガモ (カモ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 38cm。日本のカモでは最も小さい種類。河川や公園の池などに普通にみられる。水田や水辺で草の種子・茎・葉などを食べる。鳴き声は「ピリッピリッ。」「グエッグエツ。」など。



ヒドリガモ (カモ科)

分布：中流・下流・壑

全長約 49cm。雄は額から頭頂にかけてのクリーム色が目立つ。草の種子のほかアオサなどの海藻類も食べる。鳴き声は「ピューー、ピューー。」など。



オオバン (クイナ科)

分布：中流・下流・壑

全長約 39cm。全体は灰黒色で額と嘴は白色。湖沼や水辺の草やアシの中で生息。陸上を歩くこともあるが、水上生活が多い。主に水生植物を食べるが、魚類鳥類の卵、昆虫なども食べる。鳴き声は「キュキュー。」など。



ウミネコ (カモメ科)

分布：下流・壑

全長約 47cm。嘴は黄色で、先端に黒と赤の斑があり、脚は黄色。魚やイカ、貝などを食べる。鳴き声は猫に似た声で「ミャーオ。クワーオ。」など。



ツグミ (ツグミ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・壑

全長約 24cm。平地から山地の草地、農耕地、樹林地に生息し、地上でミミスズメや昆虫類を捕える。ハゼノキ等の果実や柿を好んで食べる。鳴き声は「クエックエツ。」など。



アオアシシギ (シギ科)

分布：下流

全長約 35cm。体の上面は灰色で黒い斑がある。腹は白い。嘴が長くてやや上に反っている。干潟、湿地、水田で活発に歩きながら昆虫類や甲殻類を採食。鳴き声は「ピューピューピュー。」など。



ソリハシシギ (シギ科)

分布：下流

全長約 23cm。体の上面は灰色で胸から腹は白い。脚は黄色。長くて上に反った嘴が特徴。干潟を活発に歩いてゴカイ類や小さな虫などを食べる。鳴き声は「ピッピッ。」「ピリッピリッ。」など。



キアシシギ (シギ科)

分布：上流・中流・下流・久・壑

全長約 27cm。ムクドリより少し大きい灰色のシギ。脚は黄色。河口の干潟のほか、水田や内陸湿地などでもみられる。砂泥地などでカニ、ゴカイ、昆虫類などを食べる。鳴き声は「ピューー。」など。



チュウシャクシギ (シギ科)

分布：中流・下流・壑

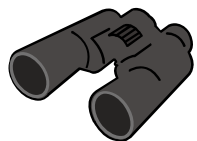
全長約 42cm。長い嘴をもつ大型のシギ。河口干潟や周辺の水田などに生息する。河川沿いにかかなり内陸にも入る。砂泥地で大型のカニ類をよく捕える。飛び立つ時などに「ホイッ、ピピピピ。」などと鳴く。

バードウォッチングに出かけよう！

堤防の上の道や河川敷の公園など見通しの良い場所が多い番匠川は、バードウォッチングの初心者でも鳥を観察しやすい環境といえるでしょう。

準備するもの

双眼鏡



双眼鏡は7倍～10倍のものが使いやすいでしょう。

望遠鏡



望遠鏡は遠い場所にいる鳥をしっかりと観察するのに便利です。倍率は20倍程度のものがよく使われています。

その他

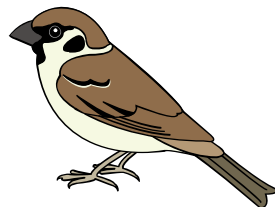
- 図鑑：種類の特徴をしっかりと見分けられます。
- 筆記用具：観察した結果をノートに書き記しておくとい良いでしょう。
- カメラ：観察に慣れてきたら望遠カメラを使って野鳥写真の撮影にチャレンジしてみてもいいでしょう。

鳥の見分け方

まずは大きさをつかむことが大事です。身近な鳥、例えばスズメ、ムクドリ、キジバト、カラスなどを「ものさし鳥」として覚えましょう。種類を見分けるポイントとなるくちばしの形、からだの形、模様などをじっくりと観察しましょう。鳥がいる周囲の環境、観察した季節もヒントになります。

鳴き声を覚えるには鳥の声を人の言葉におきかえた「聞きなし」が有効です。また市販されている鳥の鳴き声をあつめたCDなどで予習しておくとい良いでしょう。

普段から鳥の図鑑を眺めておくとい早く見分けられるようになります。



スズメ 全長約 14 cm

鳥の見つけ方

まずは肉眼で鳥の居場所を探します。そのとき鳴き声が居場所を探す大きなヒントになるでしょう。鳥を見つけたら、その周辺の目印を記憶してから、双眼鏡や望遠鏡を覗き込み観察します。



野鳥を観察する際の心得

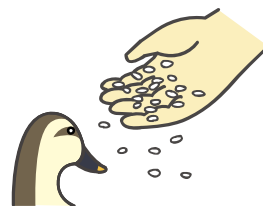
野鳥に悪い影響を与えないようにマナーを守って観察しましょう。



静かに遠くから観察しましょう。



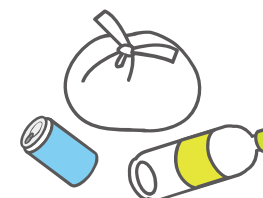
卵や雛がある野鳥の巣には近づかないようにしましょう。



餌をやるないようにしましょう。



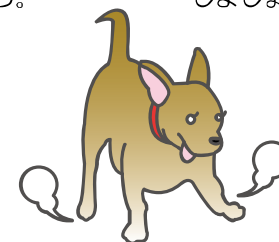
車で河原に乗り入れないようにしましょう。



ゴミを捨てないようにしましょう。



雛は拾わないようにしましょう。



ペットの放し飼いはやめましょう。

番匠川野鳥観察マップ



水辺の学校
 ●カヌーや川遊びの教室が
 ひらかれています。
 (お問い合わせ)
 番匠おさかな館
 電話：0972-46-5922

磯原原ではイカルチドリやセキレイの仲間が見られます。

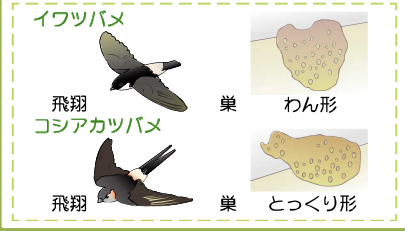
番匠川河川公園：歩道が整備されています。草地や
 ヨシ原の鳥を観察するのに良い場所です。

上岡野鳥観察所：野鳥を紹介した看板があります。
 堰の周辺には魚を狙ってサギの仲間が集まります。

女島野鳥観察所：野鳥を紹介した看板があります。
 秋～冬には水面で休むカモの仲間が見られます。

緊急ダイヤル
 警察への事件・事故……………110 番
 火災・救助・救急車……………119 番
 佐伯市消防署……………(0972) 22-3301
 (社) 佐伯市医師会……………(0972) 23-1300
 救急情報センター案内休祭日のみ

川に架かる橋の橋桁には春～初夏にイ
 ツバメやコシアカツバメが営巣して
 いることがあります。



池船スポーツ公園
 ●アスファルトの広場有り。
 (色々な遊びに使えるよ。)

凡例

	トイレ		トイレ 障害者用有
	駐車場		温浴施設
	国道		
	県道		
	その他の道路		
	歩行者・自転車		

晩夏～秋にはツバメ、晩夏～冬にはスズメがヨシ原に
 集団ねぐらをつくることがあります。

春・秋の渡りの時期の干潮時には、シギ・チドリの
 仲間が干潟で餌を食べているのが見られます。

秋～冬には水面で休むカモの仲間が見られます。